

令和3年度学校経営計画

学校の目標	保護者や地域が強く存続を望む学校であり、学校への支援は厚い。この期待に応えるためにも、一人ひとりの生徒に目が行き届く少人数の学校の利点を活かし、学力や体力の向上、人間尊重の精神の育成、秩序ある生活の確立、社会性の涵養を目指して保護者や地域と連携しながら教育を振興する。そして中学生とその保護者にとって行ってみたい分校を目指し、生徒数を確保する。		
重点取組項目			
	取組目標	取組内容	成果と課題
学力の向上	①基礎力診断テストにおけるD3層を減らす 2年5人→3人 1年3人→1人 ②基礎力診断テストの義務教育内容得点率を向上 国1年62%→80%以上 2年70%→80%以上 数1年55%→70%以上 2年55%→80%以上 英1年47%→60%以上 2年61%→80%以上	①②インターネットツールの活用 ・学習支援員事業やクラッシュ、スカイメニュー、Gワークスペースの活用 ・月曜放課後全校補習 計算問題、英語、書写、ICT活用等 ・長期休業加力補習 ・基礎(国、数、英)の学び直し ・課題テスト、漢字テスト	
社会性の育成	①地域貢献度を生徒、地域、教員を対象に調査し、肯定割合を80%以上にする ②「総合的な探究の時間」で全体発表会を実施する。 ③将来の進路選択力や目標設定力を高め、100%の進路実現を目指す。	①運動祭・文化祭等の行事を学校評価アンケートで確認 ②「総合的な探究の時間」で全体発表会を実施する。 ③インターンシップの実施 ・外部講師を招へいし、面接指導と社会人としてのマナー指導の実施	
生徒理解・生徒支援	①「学校が楽しい」の肯定的割合を90%以上とする ②「学校の先生は話を聞いてくれる」の肯定的割合を100%とする ③「学校生活に満足している」の肯定的割合を90%以上とする	①②③の取り組み内容 ・4月、全教職員で全生徒の情報共有を図る。 ・SCによる面談を実施し、ホーム主任、養護教諭、特別支援教育学校コーディネーターとの連携 ・定期的に支援会を実施 ・1、2学期にQU検査の実施(全学年)と教員がその結果を分析 ・外部の専門機関(SSW)との連携。特性を持った生徒の指導方法についての校内研修会	

令和2年度振興策の成果と課題

<p>▷個々の生徒の進路保障</p> <p>○個々の生徒に応じた教育課程の編成</p> <p>○タブレットを活用した全体指導と個別指導を両立させた授業を全ての教科で活用した。 ○教材ソフトの実践活用ができるよう、教員が毎週「総探」の授業でスキルアップを図った。また、タブレットを活用した公開授業を行った。(10~12月全教員実施)</p> <p>○遠隔教育の充実</p> <p>○5月~普通科生徒(8名)の5名は本校からの数学の配信授業。 5月~教育センターを拠点に、教育課程に位置付けた英語(8名)の遠隔授業。 ○6月~教育センターからの遠隔補習(2年)公務員補習4名20回、進学補習3名7回</p> <p>▷部活動の活性化</p> <p>○ソフトボール部(R2部員数:8名)</p> <p>○外部指導者を招へいして、技術力のアップを図った。(回) ●追手前高校本校や他校との練習試合を行い、実践力を身に着けた。 6月、県体戦績 3-11で高知工に敗退 11月、高校合同チーム冬季大会(出場:3チーム、8校) 吾北分校は高知商業との合同チームで優勝 ●吾北中(5名)のソフトボール部と合同練習会を行い、技術の向上と部員間の交流を深めた。</p> <p>○バドミントン部(男子4名、女子4名)</p> <p>○コロナ禍ではあったが吾北体育館で外部指導者を招へいして、いの町の中学校との合同練習会を実施し、技術力をアップさせた。 ○平成30年度より合同練習会を実施し、吾北分校に有望生徒が入学してきたことでバスト8まで進出した。 夏季大会(8月) 男子ダブルス ベスト8 秋季大会(11月) 男子ダブルス ベスト8 男子シングルス ベスト8</p> <p>○清流太鼓部(男子2名、女子2名)</p> <p>○全国総文祭はWeb開催となったが、8月6日、かるぼーとで発表の機会をいただき演奏した。 ●令和3年度の全国総合文化祭(和歌山)出場をかけた県予選会は残念ながら惜敗した。 ○コロナ禍でも「ほくほくフェア」という名称で、嶺北高校と一緒に、吾北中学校太鼓部と合同演奏会を2回開催した。(8月嶺北、10月633美道の駅)</p> <p>○軽音楽部(男子3名、女子3名)</p> <p>○8月、コロナ感染症対策を取りながら無観客での軽音楽に参加した。 ○年度当初に部活動紹介で部員を増やすことができた。男子3名入部</p> <p>▷小中高の交流強化</p> <p>○吾北中学校と吾北分校との教員の交流授業(体育、美術)は継続しつつ、新たに英語の交流授業も行った。(通年)吾北分校で中学生が美術の授業を行うことで、高校生の美術作品を見る機会があり、良い刺激となった。また、中学校の英語の授業に高校教員がTTとして教えることで、中学校の内容が分かり、高校入学後の授業に生かすことができる。 ○吾北地域の小・中・高との合同大運動祭を吾北小学校で開催した。小中学生とは準備や練習の時から共に行動することが多く、自然と団結力が生まれて活気あふれる大運動祭となった。(9月) ○地域の中学校との田植え、稲刈りの交流体験学習はコロナ禍と雨天により中止。</p> <p>▷安心できる生活環境の構築強化</p> <p>●コロナ禍で県外募集ができなかったため、地域みらい留学のオンライン説明会に参加した。また、県内遠方の中学校にも説明に行った。(須崎、大川、魚梁瀬)さらに生徒数確保のため、仁淀川流域の全ての中学校(一部高知市内も含む)にも学校案内や分校ポスターを持参した。 ●調理員の確保については地元の「食改グループ」と「グリーンココ」とも調整中。</p> <p>▷地域に貢献できる人材の育成</p> <p>○1年生外部講師を招へいして地元産業(土佐和紙)を題材に探究活動に取組んだ。(4回)、また、3年生の卒業証書の和紙手すきを行った。(12月) ○2年生は外部講師(折形デザイン研究所:西村優子氏)をオンラインで招へいして、楮を原料とした商品開発をした。(4回)商品名(仮称)「楮庵」 ○嶺北高校と合同で農産物の販売会を行った。(10月、633美道の駅)地元や道行くお客さんが多数訪れ、ロールケーキやシフォンケーキ(嶺北高)、草花等の売れ行きも良かった。また、同じ農業を学ぶ他校の生徒と交流を深めることができた。 ○学校で農産物の販売(吾北っこマルシェ)を行うとともに近隣にも訪問販売に行った。白菜、草花等</p>	<p>○成果 ●課題</p>
---	----------------

令和3年度振興策の進捗状況

<p>▷個々の生徒の進路保障</p> <p>○個々の生徒に応じた教育課程の編成</p> <p>・既に導入されているタブレット端末を各教科で活用。 例:理科 タブレットとスクリーンを活用してDNAの仕組みを教える 英語 タブレットで風景等を撮影し、その写真を英語に文章化してプレゼン。 体育 ダンス等の演技をタブレットで撮影し、お互いの動きをチェック</p> <p>・7月、教員のICT活用(クラッシー)研修会を実施。 ・10月~タブレットを活用した公開授業を実施する。</p> <p>○遠隔教育の充実</p> <p>・R3は数学と政経を本校から、英語を教育センターから配信して授業を行っている。 ・5月~教育センターからの遠隔補習 進学18回3名 公務員17回約6名(年間) 3年生(12名)の進路希望 四年制大学2名 公務員2名 専門学校4名 就職4名</p> <p>▷部活動の活性化</p> <p>○ソフトボール部</p> <p>・5月、県体戦績 0-10で明徳に敗退 ・本校や吾北中学校との合同練習会を行い技術力のアップを図っていく。</p> <p>○バドミントン部</p> <p>・5月、県体戦績 男子団体2回戦敗退(対高知商業)、女子団体1回戦敗退(対本校) ・6月、国体予選戦績 男子ダブルス ベスト8進出 ・引き続き外部指導者を招へいして、いの町内の中学生と合同練習会を行い、技術力のアップを図る。</p> <p>○清流太鼓部</p> <p>・令和3年度全国総合文化祭の出場権を逃したので、令和4年の出場を目指す。 ・吾北中学校太鼓部と合同演奏会を開催する。また、コロナ禍でも開催されるイベントがあれば参加する。(本校文化祭等)</p> <p>○軽音楽部</p> <p>・軽音ライブ(スクールロックバンド、軽音楽祭等)に参加する。</p> <p>▷小中高の交流強化</p> <p>・吾北中学校と分校との教員の交流授業(体育、美術、英語)を継続(通年) ・吾北地域の小・中・高との合同大運動祭を吾北小学校で開催する。(9月) ・地域中学校(池川、本川、吾北)と田植え、稲刈りの交流体験学習を行う。 田植え、吾北中10名、本川中21名、池川中7名</p> <p>▷安心できる生活環境の構築強化</p> <p>・吾北寮の紹介を入れたPR動画や分校ポスターを作成中。 ・調理員や舎監など寮運営の管理体制を構築する。</p> <p>▷地域に貢献できる人材の育成</p> <p>○地元産業(土佐和紙)を題材にした探究活動への取組は完成年度である。 ・1、2年生は外部講師を招へいして地元産業(土佐和紙)を題材に探究活動招へい事業内容:和紙の現状について(講話)、楮へぐり体験(上東小学校) ・3年生は外部講師を招へい(Zoom3回)して「楮庵」(仮称)を作成中。また文化祭で発表する土佐和紙を題材としたプレゼンテーションをまとめている。</p> <p>○地域で農業学習の発表の機会を作る。 ・授業の一環として、地域で農産物市場(吾北っ子マルシェ)を開催。 6月24.25日 スイートコーン販売 来校者約60名(両日)</p>	<p>→</p>
---	----------